

平成29年度 議会懇談会実施報告書

平成29年12月

名取市議会

はじめに

名取市議会では、平成23年12月に制定いたしました名取市議会基本条例に基づき、市内3カ所を会場とした一般市民の方々との懇談会及び市内関係団体との懇談会により、「平成29年度議会懇談会」を開催いたしました。

この懇談会は、議会の活動状況を地域に出向いて市民に直接報告・説明し、議会に対する意見や市政に対する提言などをお聴きすることにより、本市議会の一層の充実を図り、市民の議会参加と協働のまちづくりを促進することを目的とするものです。

このたび、ご意見・ご提言等に対する回答を取りまとめましたので、ここにご報告いたします。

今後とも、開かれた議会の推進に努めてまいりますので、議会活動に対するご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

名 取 市 議 会

* 報告書の回答欄は、議会懇談会で回答した内容を掲載していますが、担当部署に照会し回答を得た事項、また、市に申し入れた事項は、その旨備考欄に明記しています。

平成29年度議会懇談会開催概要

○一般市民を対象とした懇談会

開催日		場 所	担当班	当日参加者数
11月 7日（火）	19:00	愛島公民館	1班	11人
11月 9日（木）	19:00	増田西公民館	3班	11人
11月10日（金）	19:00	下増田公民館	2班	16人
			合計	38人

○関係団体を対象とした懇談会

開催日		場 所	関係団体	担当班
11月14日（火）	19:00	名取市議事堂 委員会室	名取市消防団	1班
11月14日（火）	14:00	名取市議事堂 委員会室	名取市商工会	2班
11月16日（木）	14:00	名取市民体育館 第2会議室	特定非営利活動法人 名取市体育協会	3班

議会懇談会班編成名簿

	1班	2班	3班
班 長	長南 良彦	相澤 祐司	佐々木哲男
班 員	菅原 和子	大友 康信	大久保主計
	吉田 良	齋 浩美	大泉 徳子
	佐藤 正博	荒川 洋平	大沼 宗彦
	小野寺美穂	小野 泰弘	丹野 政喜
	山田龍太郎	菊地 忍	山口 實
	郷内 良治		

目 次

○一般市民を対象とした懇談会

- 1 愛 島公民館（11月 7日）開催分…………… 1

- 2 増田西公民館（11月 9日）開催分…………… 2

- 3 下増田公民館（11月10日）開催分…………… 5

○関係団体を対象とした懇談会

- 1 名取市消防団（11月14日）…………… 9

- 2 名取市商工会（11月14日）…………… 16

- 3 特定非営利活動法人名取市体育協会（11月16日）
…………… 21

平成29年度議会懇談会 実施報告書（一般市民対象）

※明朝体は、担当課回答

No.	班	期 日	会 場	分 類	出された意見・提言等	回 答	備 考
1	1	H29.11.7（火）	愛島公民館	教育	閑上小中学校の最大収容人数は。	通常教室以外もすべて使用して最大690名と聞いています。 現在、各学年1クラスを想定しておりますが、施設としては多目的教室等を普通教室に代用できることから最大1学年2クラスまで対応可能です。よって35人学級である1、2、7年生、40人学級である3、4、5、6、8、9年生をそれぞれ2クラスとすると最大690人となります。	庶務課回答
2	1	H29.11.7（火）	愛島公民館	震災復興	何年までに何人というような、閑上地区の今後の見通しはあるのか。	具体的な数値目標はありません。 閑上に住宅を新築または購入する世帯には、補助金が交付され、新婚世帯と子育て（中学生まで）世帯には、加算されます。	
3	1	H29.11.7（火）	愛島公民館	サイクル	サイクルスポーツセンターに反対した議員もいるようだが、全体の建設費用は。	サイクルスポーツセンターそのものに反対したのではなく、その他の事項の補正予算に対してのものです。建設費は、おおよそ25億円と聞いています。	
4	1	H29.11.7（火）	愛島公民館	サイクル	サイクルスポーツセンターの運営費用、維持管理費は。	具体的には示されていません。	
5	1	H29.11.7（火）	愛島公民館	サイクル	サイクルスポーツセンターの運営の仕方は。	これまで同様、指定管理者制度による運営になると思われます。	
6	1	H29.11.7（火）	愛島公民館	サイクル	どこかの施設を参考にしたという経緯は。	具体的にはありません。	
7	1	H29.11.7（火）	愛島公民館	サイクル	事業の全体像がわからずに進めるのか。	あくまでも復旧事業です。今後具体的な内容が示された段階で、議会として提言等を行います。	
8	1	H29.11.7（火）	愛島公民館	サイクル	温泉事業のクラウドファンディングの現状は。	1,000万円を目標にしており、平成29年12月31日まで延長されました。現時点（H29.11.7）で目標額を超えています。	
9	1	H29.11.7（火）	愛島公民館	サイクル	サイクルスポーツセンターのコースはイベントやレースとして使えるようになるのか。ママチャリ大会など。	さまざまな企画をするべきと考えます。今後提案していきます。	
10	1	H29.11.7（火）	愛島公民館	サイクル	ヨットハーバーはどうなるのか。	元々国体の仮設施設でした。県の事業なので推移を見守ります。	

平成29年度議会懇談会 実施報告書（一般市民対象）

※明朝体は、担当課回答

No.	班	期 日	会 場	分 類	出された意見・提言等	回 答	備 考
11	1	H29.11.7（火）	愛島公民館	議会	議会だよりに審議結果、賛否の○×が掲載されているが、意見書の内容も賛否の理由もわからない。	掲載すべきとする意見もありますが、紙面の都合上割愛しています。意見書案に対する討論の内容は、市議会ホームページの会議録検索システムで見ることができます。	
12	1	H29.11.7（火）	愛島公民館	生活環境	決算審査の報告で航空機騒音調査の結果が、愛島が最大とあるが、内容について地元の説明がない。情報を知らせてほしい。空港の運用時間延長の説明のときも話がされていない。	年間の平均値では、愛島地区は3番目となっています。なお地元への対応については市当局に確認します。 固定局における航空機騒音測定結果の評価は、測定期間の日数による年間平均時間帯補正等価騒音レベルで評価することになっておりますが、決算審査においては、航空機騒音測定結果の評価値ではなく、一日単位による、Lden値の最大値として報告しております。 なお、このことについては、平成29年11月13日(月)に開催された愛島地区仙台空港周辺整備対策連絡協議会設立総会において愛島地区行政区長、町内会長・契約会長等に説明済みとなっております。	政策企画課・クリーン対策課回答
13	1	H29.11.7（火）	愛島公民館	市政	区長会に対する監査委員の指摘で、区長互助共済会に対する補助は不相当との指摘があるが。	監査報告は平成29年度予算編成後であったため、平成29年度の予算は執行されています。平成30年度からは廃止となるものと思われます。 議会懇談会での回答のとおり、監査委員から指摘があった補助金について、平成30年度から廃止の方向で調整しております。	総務課回答
14	1	H29.11.7（火）	愛島公民館	地域課題	名取変電所の建設に係る対応について。	東北電力の対応を見守ります。	
15	3	H29.11.9（木）	増田西公民館	サイクル	サイクルスポーツセンターのプロジェクトリーダーと統括するのは誰か。	商工観光課で担当しています。	

平成29年度議会懇談会 実施報告書（一般市民対象）

※明朝体は、担当課回答

No.	班	期 日	会 場	分 類	出された意見・提言等	回 答	備 考
16	3	H29.11.9（木）	増田西公民館	サイクル	議会だより第160号(H29.11.1号)に入場者・宿泊者の見込みが10万人と載っているが根拠は。採算性はどうか。	利用者数については、宿泊者6,000人、サイクリング施設利用者3万人、温泉施設利用者10万人とし、収支についてはある程度のプラスを見込んでいるとのことですが、具体的な金額は示されておりません。 宿泊は、旧施設(3,000人)と隣接していた松韻荘(1,500人)に新たな需要(1,500人)を合わせたものです。 サイクリング施設は、平成21年度実績(24,000人)と温泉施設による増員(6,000人)を合わせたものです。 温泉施設は、亘理町の鳥の海荘の状況(16万人)、交通アクセス、周辺人口を考慮し算出したものです。	
17	3	H29.11.9（木）	増田西公民館	サイクル	復旧事業のため前にあった「サイクルスポーツセンター」という名前なのか。温泉やPRを含めて魅力あるネーミングは、できないのか。	ご意見として市当局へ伝えます。 災害復旧で施設の再建を行うことから、公の施設として「サイクルスポーツセンター」の名称を変えることは、難しいですが、愛称またはネーミングライツについては、今後の検討事項としてしているところです。	商工観光課回答
18	3	H29.11.9（木）	増田西公民館	サイクル	市民はいろいろなアイデアもある。より楽しいもの、面白いものをつくりましょうという提案をしている。名取市には何もないから、起爆剤としてサイクルスポーツセンターをメインとして、情熱を伝えたいが、誰に伝えればいいのか。	市当局では前の施設と比較しているが、内容的には大分吟味したという説明でした。細かなところは今後検討することでしたが、意見を聞く機会を設けるよう市当局に伝えます。 商工観光課で担当しています。	商工観光課回答
19	3	H29.11.9（木）	増田西公民館	サイクル	サイクルスポーツセンターは誰でも利用できるのか。自転車でもスピードの出るものもあり、そういう人と一緒では危ないのではないのか。	原則誰でも利用できます。運用については詳しい方々に入っただき、安全な運用のあり方が検討されると考えます。子供からお年寄りまで、自由に楽しめるコースが設定されています。	
20	3	H29.11.9（木）	増田西公民館	教育	関上小中学校の最大の問題は、平均すると1学年10名となることである。少ない児童生徒数で運営に問題はないのか。有効な活用をしないと、名取市の損失ではないのか。	少人数の学級、部活動の問題はありますが、損失とは捉えてはいません。しかし、立派な施設なので使いこなすために、子供たちの人数が集まらないと難しく、厳しい状況にあります。部活動は5つしか設立できない説明でした。関上学区に住んでいても、その辺が判断材料となつているとも聞いています。送迎バスは、名取駅から、杜せきのした・美田園を経由し、無料です。近辺の方はなとりん号での対応を考えているようです。	

平成29年度議会懇談会 実施報告書（一般市民対象）

※明朝体は、担当課回答

No.	班	期 日	会 場	分 類	出された意見・提言等	回 答	備 考
21	3	H29.11.9（木）	増田西公民館	議会	議会懇談会が市内3会場では少ない。お知らせも不十分で、人数も少なく市民の声を反映できない。懇談会の時間も短い。 また、一般質問を多くすべき。真剣になって声を聞いて反映させる考えはあるのか。	これまでの議会懇談会について、参加者は多い場所少ない場所があり、毎年同じではありません。それらの経過を踏まえ、常任委員会の専門分野での懇談会も必要という声があり、今回は開催したものです。 一般の方にしわ寄せが来ているということでは、今後どのように進めるか、課題と考えています。 皆さんの意見を聞くことはこの懇談会に限らず、いろいろな場面で、議員それぞれに伺っていますが、このようにまとまった機会もさらに検討していきます。	
22	3	H29.11.9（木）	増田西公民館	議会	名取が丘1丁目の市営住宅の建てかえ問題について、ことしの1月の臨時会において、否決された。その理由を説明してほしい。市長と反対議員の対立だと感じている。名取市がよくなるのであれば、賛成するのが皆さん方ではないのか。どういう意味で否決されたのか。	市長との対立ではありません。議員それぞれの判断、いろいろな考えから議決されたものです。	
23	3	H29.11.9（木）	増田西公民館	下水道	解体予定の名取が丘の市営住宅について、下水道工事をしているのはどうか。	市当局に確認します。 名取団地からの生活雑排水について、近隣住民から改善の要望があったことから、生活環境向上のために公共下水道に接続したところ です。	都市計画課回答
24	3	H29.11.9（木）	増田西公民館	市政	区長制度の見直しについて総務課などに相談しているが、いまだに返事がない。どうなっているのか。	市当局に対応を要請します。 具体的な回答の約束をした経過はありません。ご相談いただいた都度、真摯に対応しております。	総務課回答
25	3	H29.11.9（木）	増田西公民館	防災	Jアラートの発信内容で、頑丈な建物に避難してくださいというが、どこに避難すればいいのか。避難できる体制ができていないが、市の対応を伺う。	具体的に頑丈な建物はどこかという問題もありますが、ミサイル発射の想定もはっきりしない状況です。市では、具体的な対応をしなければと考えているので、議会として厳しくチェックしていきます。	
26	3	H29.11.9（木）	増田西公民館	市政	市長のブレーンは何人いるのか。事業や政策の専門的な助言が必要で、庁内で同じような方では発展しない。そして、プロジェクトリーダーと組織図を明確に示してほしい。	市長と副市長、部課長等で進めています。役職であり、ブレーンということはありません。また庁外からは、有識者、実践者やNPO法人など、必要なプロジェクトに対して意見を求めることはあります。友人関係等、プライベートなことはわかりません。	

平成29年度議会懇談会 実施報告書（一般市民対象）

※明朝体は、担当課回答

No.	班	期 日	会 場	分 類	出された意見・提言等	回 答	備 考
27	3	H29.11.9（木）	増田西公民館	震災復興	閉上に戻るが、スーパーと病院は来るのか。	商業施設や医療施設などの募集を行っています。生活する方々にとって必要な施設です。市当局では、募集だけでなく、一生懸命働きかけを行っていると考えています。	
28	3	H29.11.9（木）	増田西公民館	議会	常任委員会の行政視察は、なぜ遠方にだけ行くのか。また、同じような場所に違う委員会が行っているが、1チームだけ行けばいいのではないかと。また、これによってどのような結果が生まれたのか。あわせて、行政視察の必要な経費はいくらかかったのかお聞きしたい。	常任委員会の行政視察は、各委員会においてそれぞれの所管に応じた市政の課題からテーマを設定し、視察先を選定しています。視察後は、委員会調査報告書を市議会ホームページに掲載しているほか、視察内容を踏まえて一般質問を行う議員もいます。行政視察に要する経費として、1人当たり8万円を予算措置しています。	
29	3	H29.11.9（木）	増田西公民館	議会	議員定数21名に対し、現在19名だが、補欠選挙をしないで運営できるのであれば削減すればいい。	補欠選挙に関しては法律の定めがあります。本市は人口がふえているので、各地域の声が届くよう減らせないと考えています。	
30	3	H29.11.9（木）	増田西公民館	公園	名取が丘の公園整備は、高齢者向けの健康のために動ける公園、高齢者がくつろげる公園整備をお願いしたい。	健康遊具への更新に当たっては、平成29年2月定例会において、地元の要望を聞きながら検討していきたいとの答弁がありました。	
31	3	H29.11.9（木）	増田西公民館	地域課題	名取が丘の地域の問題として店がない。一人暮らしの老人が、杖をついていくには大変である。将来的な発展を含めて、どのように考えているのか。	地域の課題ということで、都市計画マスタープランの検討が行われ、地域が抱えている問題を洗い出されています。買い物不便な地域になっていることは示されています。市長は均衡ある発展を公約に掲げているので、市当局に伝えます。	商工観光課回答
32	2	H29.11.10（金）	下増田公民館	サイクル	震災以前、サイクルスポーツセンターは三笠宮杯などで集客していた。復旧後に開催する考えはあるのか。	現段階では、全体の計画図が示されたのみです。大会の開催や、運営については決まっていません。	
33	2	H29.11.10（金）	下増田公民館	サイクル	海岸沿いのサイクリングロード(仙台湾自転車道)は復旧するのか。	市当局に確認します。	商工観光課

平成29年度議会懇談会 実施報告書（一般市民対象）

※明朝体は、担当課回答

No.	班	期 日	会 場	分 類	出された意見・提言等	回 答	備 考
34	2	H29.11.10（金）	下増田公民館	サイクル	サイクルスポーツセンターの屋上には入ることは可能か。	津波からの避難スペースになっています。	
35	2	H29.11.10（金）	下増田公民館	サイクル	サイクルスポーツセンターでは、自転車のフリースタイル競技はできるのか。	市当局に確認します。 フリースタイル競技場の設置は、予定しておりませんが、機材等の持ち込みにより対応可能な広場の整備を検討しています。	商工観光課回答
36	2	H29.11.10（金）	下増田公民館	教育	閑上小中学校の生徒数は何人まで対応できるのか。	学校説明会では、1クラス35～40人として、各学年2クラスまで対応できると聞いています。 現状では、9年生が18人と一番多い学年で、1学年1クラスになりそうだと聞いています。当座は問題ないとみています。	
37	2	H29.11.10（金）	下増田公民館	教育	下増田小学校、愛島小学校の児童数が多くなっている。増田中学校、第一中学校も同じくふえている。教育委員会では、児童生徒数を分散するなどの施策はあるのか。	閑上小中学校が、人数の調整のような役目となっているわけではありません。 少人数学級に対応できる受け皿になるのではないかと考えています。	
38	2	H29.11.10（金）	下増田公民館	教育	閑上小中学校では、施設開放はあるのか。	あります。	
39	2	H29.11.10（金）	下増田公民館	教育	閑上小中学校では、先生の配置などはどう考えているのか。	1～6年生は小学校の先生、7～9年生は中学校の先生が対応します。全ての先生が、1～9年を教えるということではありません。 6年生と7年生では、お互いの連携や配慮が考えられています。	
40	2	H29.11.10（金）	下増田公民館	教育	閑上小中学校の部活動は、どう考えているのか。	野球部(男子)、バスケットボール部(男子)、バレーボール部(女子)、ソフトテニス部(男女)、卓球部(男女)、総合文化部を基本に検討しているとのことです。	
41	2	H29.11.10（金）	下増田公民館	教育	閑上小中学校の校庭は、どこにあるのか。	校舎(建物)の西側です。	

平成29年度議会懇談会 実施報告書（一般市民対象）

※明朝体は、担当課回答

No.	班	期 日	会 場	分 類	出された意見・提言等	回 答	備 考
42	2	H29.11.10（金）	下増田公民館	教育	最近、学校でのいじめが話題になっているが、閉上小中学校では9年間も一緒になるので心配。セーフティネットのようなものでフリースクールとの連携は考えていないのか。いじめに遭ったときに、連携やサポートを考えておくのも必要ではないか。NPO等との連携も考えて、ほかにはない特色を出した方がよいのでは。	ご意見として市当局へ伝えます。 学校内に教育相談体制があります。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーも配置され、いじめも含め対応する体制があります。いじめにより不登校となった場合は、フリースクールではありませんが「けやき教室」との連携も可能と考えております。	学校教育課回答
43	2	H29.11.10（金）	下増田公民館	地域課題	住民7,700名、2,800世帯に対して、下増田公民館は狭い。早急に建てかえてほしい。 現在の公民館の土地が狭いので、児童館も含めた複合施設などで考えられないのか。	ご意見として市当局へ伝えます。 下増田公民館の狭隘、老朽化については、建てかえ要望の声が地域からあることは、他の機会を通じても伺っているところです。 具体的な計画は、現在のところありませんが、公民館の建てかえについては、他の公民館も含め、全体で順次検討していく必要がありますこと、ご理解をお願いいたします。 なお、具体的に検討する段階になりましたら、ご意見のあった複合施設化も含めて、地域の声を聞きながら検討を進めていきたいと考えております。	生涯学習課回答
44	2	H29.11.10（金）	下増田公民館	市政	空港周辺の整備(物流センターや観光施設、土地活用など)について次の五カ年計画に入れ込めないのか。 県道塩釜亘理線や新たな沿岸部の道路と合わせた、空港周辺の将来設計を具体的に立ててほしい。	ご意見として市当局へ伝えます。 県道塩釜亘理線や沿岸部の道路沿線地域は、市街化調整区域のため現状のままでは、将来計画を策定するには難しい状況にあります。現在、具体的な計画構想はありませんが、今後空港周辺の立地条件を生かせる将来計画について調査、研究していきたいと考えております。	政策企画課回答
45	2	H29.11.10（金）	下増田公民館	公園	業者に頼んでいた美田園中央公園の草刈り回数が2回から1回に減ったため、虫が出て困っている。 公園の草刈りを、町内会に委託してほしい。	ご意見として市当局へ伝えます。 当該公園の草刈り業務については、年2回草刈りを実施しています。草刈り業務の町内会への委託については、当該地区にも公園愛護協力団体がありますので、意見を聞いていきたいと考えております。	都市計画課回答

平成29年度議会懇談会 実施報告書（一般市民対象）

※明朝体は、担当課回答

No.	班	期 日	会 場	分 類	出された意見・提言等	回 答	備 考
46	2	H29.11.10（金）	下増田公民館	下水道	台風21号の大雨で、美田園2、3、4丁目の一部の道路が膝近くまで冠水した。調整池もいっぱいになっていた。ポンプが自動で稼働して排水するようにしてほしい。	排水機場のポンプは自動運転になっています。ご意見として市当局へ伝えます。 下増田雨水ポンプ場の排水ポンプは、流入水位により自動運転で稼働しております。	下水道課・雨水対策室回答
47	2	H29.11.10（金）	下増田公民館	下水道	美田園排水機場は、雨量380mmに対応できる施設と聞いている。台風21号による短時間の大雨に、対応しきれなかったのではないかと。	市当局に確認します。 台風21号による豪雨は、下増田雨水ポンプ場の排水ポンプ能力および調整池の許容量を超えたものでした。	下水道課・雨水対策室回答
48	2	H29.11.10（金）	下増田公民館	生活環境	調整池に、ススキとガマが生えるので草刈りをして、管理してほしい。	ご意見として市当局へ伝えます。 水底は、水田生態系の維持が可能な環境をつくるよう県より指導があり、ビオトープとして整備した経緯があります。これらの植物との兼ね合いも考慮し可能な限り草刈りを実施します。	土木課回答
49	2	H29.11.10（金）	下増田公民館	下水道	台風21号による大雨の影響で、美田園8丁目で下水が使えなくなった。広報車などを出してお知らせすべきではなかったか。	ご意見として市当局へ伝えます。 名取市ホームページには掲載しましたが広報車による広報活動はしませんでした。今後は、状況に応じて広報活動をしていきます。	下水道課回答
50	2	H29.11.10（金）	下増田公民館	道路	美田園7、8丁目の市道植え込みの木が津波の塩害で枯れた。植えかえか、雑草が生えないようにしてもらいたい。場所によって県道と市道があるため管理が違うと思うが、市の管理の部分についてお願いできないか。	ご意見として市当局へ伝えます。 当地区の街路樹剪定については年1回実施しており、その際、植え込みされていない箇所の除草も実施し対応しております。復興事業を最優先としているので、消失した街路樹の復旧については、時間をいただきたいと考えています。	土木課回答
51	2	H29.11.10（金）	下増田公民館	下水道	台風21号による大雨で、関上新町頭が冠水した。大雨に対応できるようにしてほしい。	ご意見として市当局へ伝えます。 市と施工業者との連携を強化し、雨水排水設備の日常管理の徹底及び災害対策並びに災害対応を見直し、被害の最小限化を目指すとともに、早期事業完成に向け、努力を重ねていきたいと思えます。	復興区画整理課回答

平成29年度名取市議会懇談会実施概要（関係団体分）

関係団体の名称	名取市消防団
テーマ	<p>共通テーマ</p> <p>1 サイクルスポーツセンターについて</p> <p>2 閑上小中学校について</p> <p>3 議会だよりのリニューアルについて</p> <p>消防団の現状と課題について</p> <p>（1）消防団の機構と人員について</p> <p>（2）消防団の組織の課題について</p> <p>（3）団員確保の取り組みについて</p>

概 要

1 開 会（司会：菅原和子議員）

班長の長南良彦議員及び、名取市消防団団長の松浦岩男氏がそれぞれ挨拶を行った後、市議会議員及び名取市消防団の出席者紹介を行った。

2 懇 談

共通テーマの1 サイクルスポーツセンターについて、2 閑上小中学校について、3 議会だよりのリニューアルについて、説明担当の小野寺美穂議員から報告及び説明を行った。

消防団：サイクルスポーツセンターについて、休館日や料金などは決まっているのか。

議 会：具体的にはまだ示されていない。

消防団：サイクルスポーツセンターは、名取市による運営になるのか。

議 会：これまで同様、指定管理者制度による運営になると思われる。

消防団：宿泊は誰でもできるのか。

議 会：誰でも宿泊することができる。

消防団：プールはこの復旧計画には入っていなかったのか。

議 会：当初から含まれてはいない。温泉事業が単独事業として加わった形である。海水浴場再開に向けての調査を進めている。

消防団：サイクルスポーツセンターや小中一貫校について防災の観点から何か参考にした施設などはあったのか。

議 会：具体的にはないと聞いている。

消防団：閑上小中学校に他地域から入学を希望する場合の手続の締め切りは。

議 会：通常でも転校や編入はあるので、特に締め切りはないと認識している。

【学校教育課回答】準備の都合上、早めの手続が望ましいところですが、通常でも転校や編入はあるので、特に締め切りはありません。

消防団：入学希望者の数は。

議 会：平成29年10月26日時点での開校時の児童生徒数の見込みは、1年生から9年生まで合わせて93人である。

消防団：最大受け入れ人数は。

議 会：通常教室以外もすべて使用して最大690名と聞いている。

【庶務課回答】現在、各学年1クラスを想定しておりますが、施設としては多目的教室等を普通教室に代用出来ることから最大1学年2クラスまで対応可能であります。よって35人学級である1、2、7年生、40人学級である3、4、5、6、8、9年生をそれぞれ2クラスとすると最大690人となります。

消防団：通学に際し、開校までに特に小塚原などの歩道や信号の整備はされるのか。

議 会：市当局に確認する。

【復興区画整理課回答】小中一貫校の開校にあわせて、周辺道路整備を歩行者通行に支障が生じないように、施工を進めております。

なお、信号機の設置については、県警に申請済みで設置予定ですが、平成30年3月末日までとはいかないため、横断歩道等の路面表示を開校までに整備する予定です。

消防団：スクールバスの運行ルートは。特に大曲地区への配慮はあるのか。

議 会：市当局に確認する。

【庶務課回答】スクールバスの運行ルートについては、名取駅から杜せきのした駅、美田園駅を経由した閑上小中学校間となり、閑上学区外から通学する児童生徒のみを対象に運行を行います。

閑上学区内の児童生徒のためのスクールバスの運行は考えてはおらず、学区内の児童生徒の通学方法については、徒歩もしくは、一定の要件はありますが、自転車での通学となります。

ご指摘の牛野・大曲・高柳地区から通学する児童生徒については、その対応のため、なとりん号閑上線運行ダイヤの充実について担当課に要請しているところです。

なお、現在運行している被災児童生徒用スクールバスについても、学区外から通学する被災児童生徒のみとなり、平成31年度までの運行となります。

○消防団の現状と課題について

- (1) 消防団の機構と人員について
- (2) 消防団の組織の課題について
- (3) 団員確保の取り組みについて

議 会：消防団の組織としては、これまで市内に6分団37部あり、現在は34部となっている。しかし、昭和41年から（当時の市の人口約34,000人）定員480名は変わっていない。現在人口約78,000人だが、この点についてはどうか。

消防団：6つの地区が合併して市になっている。ポンプ車1台につき4名で消火活動を行う。かける3として12名で一つの部となっている。

人員をふやした方がいいのではないかと言ったことはあるが、自営業、農家、商業関係者が減少しているので、人集めには苦勞している。充足率は82.3%。震災で閉上が約50名減った。ゆりが丘、那智が丘にも配置してもらえるとよいが、いまだ結団されていない。なぜ踏み切れないのかがわからない。

消防署は常に人員がいるが、団地に配置しても10数名で形骸化してしまわないかという懸念もある。

団地の方でも団に入りたいという人がいて、高館第5部に入団したが、やはり長続きしないで辞めてしまったという経緯がある。愛島でも一部そういう例がある。愛島台は愛島第2部の管轄だが、ひとりPTAつながりで入り、そこから最大5、6名までふえたこともあったが、仕事の都合、転勤など（当時勤務地団員はなかった）で辞めざるを得なかった。現在2、3名の団員に協力してもらい、地元の防災訓練や花火の警戒に出てもらっている。他の団地でも協力できればいいと思っている人はいると思う。さまざまなこのような機会をとらえて活動をアピールする必要がある。継続していただける方がいないと、団は1、2年で全てマスターできるわけではない。5年、10年と活動して技術、知識を覚え、活躍してもらうので、そこにつなげていくのがなかなか難しいが、そういう努力は続けていかなければならないと考える。

議 会：人口増の中で、部のあり方として、団地等も20年以上たっているが具体的にない。いつまでもおんぶにだっこではよくないという声もある。こうあるべきというものはあるのか。

消防団：閉上分団は震災で50人減った。閉上も団地ができているが、閉上に住

んでいる団員がなかなか見つからない。閑上分団に所属しているが、他地域から通っている状況。詰所も平成30年度あたりから建設予定ということで、万が一火事などが起きた場合、地元ですぐ対応できるようにしたいと思うが、町内会もなかなか結成できず頼めない。

議 会：一番最初にできた名取が丘団地にも消防団はできていない。婦人防火クラブはあるが、地域の町内会、区長会で地域の中の消防団と位置づけてもらうという運動が必要ではないか。愛島台も同様、3、4人は入ってもらえるが一つの部をつくるとなると、12名が必要となる。市としては12名集まれば、すぐポンプ車をそろえるという話は聞いている。

消防団：人数だけ確保すればいいというものでもなく、危険も伴うので経験と知識、活動力が必要。愛島台は、愛島第2部が、団地は高館第5、6部がカバーしている。防災組織はつくっているだろうから、若い人を推薦してもらって、分団に入団してもらって、活動力をつくって、12名とは言わなくても、8名くらいいれば車両に4名乗車できるので活動できる。しかし、そういう体制をつくるまでには時間がかかる。まず部に入ってもらい、組織をつくっていかないと、人数をそろえただけではすぐには活動できない。勉強と経験が必要である。また、部をつくれれば幹部もつくらなければならないので、育成も必要である。

議 会：団地では日中人がいないこともあり、なかなか難しいものがある。

消防団：消防活動は一朝有事の際は、やはり人数が必要。行政区長や班長にもう少し積極的に関与してもらわないと、どのような若い人がいるかわからない。

議 会：愛島台、ゆりが丘、那智が丘、相互台は既存の部がフォローしているが、負担をどう感じているか。

消防団：高館、愛島の範囲が広がると、防火の啓発活動でも今いる人数で活動しなければならないので苦労している。

自主防災組織も広がっている。普段の消防団の防火活動も一緒に行えるとよいが、つながりがないところも多い。いきなり消防団にとなくなっても、自主防災組織とかかわればよい。

下増田では、婦人防火クラブがなくなり、火災予防週間も防火協力会と消防団で行っている。自主防災組織が婦人防火クラブと同じような活動ではないかということで、解散してしまった。自主防災組織から団に入る人を推薦してもらいたい。

議 会：自主防災組織は町内会単位で活動しており、年に1度くらい訓練とまではいかないが、消防に来ていただいて話を聞いたりしている。そういう時に消防団の方に来てもらって、話してもらおうと地域の方々が、消防団を

意識できるのではないか。実際、町内で初期消火活動をしてもらっている。

自主防災組織は町内会の役員がかわるとまた一からという側面もある。
消防団：確かにそうである。消防団は入れば長年続く。美田園地域を町内会長と回って募集をしたが、なかなかいない。結局入ったのは町内会長の親族だった。

下増田第5部には北釜が含まれているが、若い人が少ない。いても日中仕事に出ている。

議 会：閑上に地元の団員がいないということだが、復興公営住宅も高齢者が多い。そういうところにこそ必要だと思う。消防団の負担を減らすという点では、火災予防週間の広報活動ならできるという人はいるのではないか。

消防団：機能別団員という考え方もあって、今後取り組みをしていくが、女性消防隊（現在16名が）、本市では消火活動はせずに、広報や応急手当、救命の指導、高齢者の見回りをしている。何かに特化すればできるという人はいる。今後は、役割分担というか、そのような活動の仕方も考えていかなければならない。

一番の活動は救急救命。AEDを使って、企業や学生向けに講習をしている。防火週間の啓発活動や高齢者宅訪問、幼稚園の幼年消防隊の入隊式などの活動もしている。

議 会：新しい団員を勧誘する際に、出初式だけでいいとか、実際に入ってみると違うということもある。PR部隊などに分けての勧誘であればいいが、団員としてであれば、仕事の関係で出られないなどがある。町内会の役員で一丸となって勧誘に歩いたこともあるが、だめだった。商店街で後継者がいるうちはいいが。

消防団：やってみたいと自主的に入ってくれるのが理想的。秋まつりを中心にPRし、勧誘して一人入った。無理やり勧誘しても続かない。活動の多少にあまり目くじらを立てても仕方ない。やはり人数の確保は重要。

議 会：団に入りたくないという理由は。

消防団：親が許さない。親が消防団だったのに、その息子は入れないというケースも少なくない。部長経験者でも強く推してくれない。上下関係が厳しいので、それに耐えられないと困る。

事業者もリスクが多い。休みがない中で活動している。土日に大会や活動する場を設けているが、子育て世代は子供の行事と重なったりすると出席率が低くなる。活動を土日中心にしているのでサラリーマンもふやしてほしい。

かつては自分が辞めるときには、誰かを入れなければならないというようなことがあった。現在核家族化が進んでいる。勧誘に行っても、息子に

聞いてくれと言われる。

下増田では消火栓も10カ所から40～50カ所とふえた。同じ人数で点検しなければならない。

志願して入るわけなので、やはり家族の理解が必要である。

限られた人員で団員が勧誘までするのは大変である。

消防団カードで買い物がお得とか魅力もつくってもらいたい。家族カードとかもある自治体もあるようだ。それで団員がふえているところもある。

県では、村井知事が、地元貢献しなさいということで、職員に消防団に入団することを推奨している。本市でもぜひそのような声かけをしてもらいたい。

団員の息子をということだけでは、しりすぼみになってしまう。

議 会：名取市職員も2名入っている。

消防団：実際に災害となると、職員の方は活動できないが、色々な活動や練習などに参加してもらえるとPRにもなる。行政からも発信してもらいたい。

議 会：消防団の訓練等が古いのではないかという意見も一般論としてあるようだが、どう考えているか。

消防団：我々の年代の消防団員が考えていることと、若い団員とではギャップがある。平成13年に団の活性化計画を立てて活動している。事業企画の部会があり、一般団員から出ている声を出してもらっている。いろいろと本音も聞こえてくる。活動しやすい形にしようとしている。

議 会：団のOBの活動(手伝い)は。

消防団：OBの活動は公務に当たらず、何かあったときに補償が出ないので、消火活動はできない。水利系のアドバイスや車の誘導ならよいが、OBには後方支援をしてもらいたい。特に夜間や水利関係など、地元の人のような支援はありがたい。

OB団員制をとっているところもある。秋田市では機能別団員としている。

住民、国民としての義務もあるし、消防団から頼まれたという形なら見てもらえるものはあるらしい。行政の方で何かの形で補償制度をつくってもらいたい。

議 会：団員からの改善の要望などはあるのか。

消防団：一番は予算の問題。館腰第3部の出入り口が泥だらけになる。詰所やポンプ小屋は建ててもらっても、周辺は見てもらえない。

車両にエアコンがほしい。平成29年購入の1台からはついている。暑い寒いよりも窓ガラスが曇る。安全性の問題からもつけてもらいたい。仕様書になかったためである。

積載車はマニュアル車だが、若い人はオートマ限定免許しか持っていないことが多い。今のところ団には限定免許の人はいないが、次からはオートマ車になるようである。

消防団：消防団協力事業所が12団体ある。（J A名取岩沼, イオンモール名取、サッポロビール仙台工場、設備会社、電気、建設関係など）2名以上の方に協力してもらっている。入札のランクアップとか税関係とか何らかのメリットを行政側からも後押ししてもらいたい。

議 会：災害応急処置協力会15団体からも入札などの還元措置がほしいというような陳情が出され、市に対して改善を求めた。前向きに検討したいという回答を得ている。

3 まとめ

- ・市職員に対する消防団入団の推奨に関しては市に提案する。
- ・OB団員の活動に対する補償制度の導入が可能かどうかという点も含めて調査研究する。
- ・詰所、ポンプ小屋等の周辺環境整備については、市に対応を求める。
- ・更新時期に間があるものについては、安全性の観点から、窓ガラスの曇り止めのためにもエアコンの設置を求める。
- ・消防団協力事業所への対応については市で検討中とのことである。
- ・買い物カード等提案された消防団の魅力づくりについては、先進事例などを参考に調査、研究していきたい。

平成29年度名取市議会議会懇談会実施概要（関係団体分）

関係団体の名称	名取市商工会
テーマ	<p>共通テーマ</p> <p>(1) サイクルスポーツセンターについて</p> <p>(2) 閑上小中学校について</p> <p>(3) 議会だよりのリニューアルについて</p> <p>商工業振興策について</p> <p>(1) 商工業の現状について</p> <p>(2) 閑上復興と市内全体の活性化策などについて</p>

概 要

1 開 会（司会：小野泰弘議員）

班長の相澤祐司議員及び、名取市商工会会長の小島哲夫氏がそれぞれ挨拶を行った後、市議会議員及び名取市商工会の出席者紹介を行った。

2 懇 談

共通テーマ

- (1) サイクルスポーツセンターについて
- (2) 閑上小中学校について
- (3) 議会だよりのリニューアルについて

説明担当の荒川洋平議員が報告及び説明を行った。

共通テーマについて

(1) サイクルスポーツセンターについて

商工会：維持管理をどういった業者に任せるのか。費用や採算はどうなるのか。

議 会：まだ基本設計の段階。議会にも説明はない。事業の骨格ができた段階で、説明があると考えている。

今回は温泉施設も整備するので、震災前よりも集客できると見込んでいる。そのため赤字にならないと考えているようだ。

(2) 閑上小中学校について

商工会：2,100名が閑上に戻る計画になっている。93名の希望者は、その子供たちになるのか。

商工会：閑上に、若い人たちが戻るための策を市は考えているのか。

震災復興部に尋ねたが答えはなかった。先を見越した策を考えなければならぬのでは。不安を感じる。

議 会：2,100名が戻るとしているが、開校時はもっと少なく、人口の増加には時間がかかると予想している。新婚世帯と子育て世帯に補助金を出す制度がある。市有地の売却・分譲が始まっているので、若い世帯の定着を期待してよいのでは。

商工会：若い世帯を呼び寄せるのは、お金だけなのか。働く場所も必要ではないか。仙台空港も絡めた、閑上の復興を期待していたが、心配なことがいろいろある。

(3) 議会だよりのリニューアルについて

特になし

商工業振興策について

(1) 商工業の現状について

最初に商工会より資料を基に概要説明を受け、その後、懇談に入った。

商工会：会員数が1,050名を切ると、今の職員が3名削られてしまう。閑上の復興もあるので、何とか食いしばってこらえているのが現状。平成33年度には、職員1名を追加予定である。

商工会：経営発達支援計画認定事業における認定数は、県内トップが名取市。事業当初からスタートしており、名取市は県内の先駆けである。

商工会：小規模企業振興条例について勉強会を開催している。今のところ県内では、3自治体に条例がある。他に2自治体で平成29年度中に成立しそう。ぜひとも、本市でも制定できないか。

商工会：小規模企業振興条例の勉強会資料があるので、皆さんで見てほしい。

議 会：白石市では、基本条例を理念条例として策定している。女川町では、各商店などから情報を集め、具体的などころまで詰めてから、策定する

準備をしている。

名取市では、各事業者からアンケートなどを行って、できるだけ具体的な条例となるように準備をしたいとのこと。現状では策定まで1～2年ぐらいの時間がかかる。

商工会からアンケート調査が届いており、具体的な動きが出てきている。

理念的な条例をできるだけ早く出した方がよいのか、具体的な条例を時間をかけて策定した方がよいのか、商工会としてはどちらがよいと考えているのか。

商工会：他の地域の実例を見たほうが、とても参考になる。行政が困るようなまちづくりではよくない。

この条例策定について、平成28年9月と、その前にもお願いしている。ぜひとも早く策定してほしい。

内容がわからないままに策定されるのも困るが、他の地域で取り組んでいるので、時間はかからないはず。

名取市全体を見渡したものができていないので、準備が進んでいないと考えている。

早く制定して、すばらしい名取をアピールしてほしい。
ただし、内容がわからないままではなく、よく理解して進めてほしい。
ぜひとも、議会からも推していただきたい。

議 会：現市長も、議員時代に条例の制定について取り上げているので、考えているのではないか。

そのために執行部から商工会へ、勉強会などの声をかけていると思う。具体的な策については、商工会から執行部に意見を出していただきたいし、議員にも教えてほしい。

商工会：平成28年、平成29年と要望を出して、そこからまた2年も待つのでは時間がかかる。ぜひとも制定してほしい。

(2) 閑上復興と市内全体の活性化策などについて

商工会：閑上だけの復興を進めるのではなく、他との連携が必要なのではないか。

商工会：若い人たちが、自然に集まってくる施策がいるのではと心配している。10～20年先を見越した策を考えるべきでは。

議 会：私たちも心配している。商工会の考えを受け止めていきたい。

3 まとめ

今回の商工会との懇談では、以下のような要望・意見も出された。今後の委員会活動に生かしていきたい。

- ◎ 閉上で生活する上での施設誘致を、商工会としても声かけしていたが、止まってしまった。かわまちづくりだけでは、商業施設を網羅しきれていない。箱物づくりや誘客だけで、閉上は本当に大丈夫なのか心配している。
- ◎ 今後も、このような懇談の場を設けてほしい。
- ◎ 閉上の復興の考え方の一つとして、IR(統合型リゾート)の勉強会を行った。発想を転換した考え方も必要と思い企画した。IRについてよしあしはあるが、岩沼市が先行しているので、おくれないように企画した。
- ◎ 全体的に、名取のまちづくりの統一性・バランスが悪いと感じている。
増田から車で10分ぐらい走ったところに、児童生徒数が少ない学校(閉上小中学校)があるのはおかしい。児童生徒数を相対的に考えることが必要では。
- ◎ 工業部会は、地元の業者で53億円に及ぶ事業を請け負ってきた。事故もなく安全に進めることができた。復興に参加できたこと、非常に感謝している。
- ◎ ネット等が発展した現代、地域のあり方や商店街のあり方を考えていかなないと、今後の発展が難しくなるのでは。そういうことも考えて、名取市として早急に対応を取るべきではないか。
- ◎ 小規模企業振興基本法では、施策の策定などは地方公共団体にも責務があると規定されているので、条例をいち早くつくってほしい。
宮城県では国にならって早くつくり、仙台市でも策定している。白石市では6次化を中心に振興策を作った。
今年も5自治体が策定したようだ。本市だけがおくれているので危惧している。今は検討の段階ではない。地方公共団体に責務があるので作らなければならない。
基本計画をつくった以上は、必ず実行しなければならないことになっている。そのため、すぐに取り組めないのではと考えている。
商工会と担当課で、話し合っって計画書をつくり上げる時期であり、研修会に取り組む時期ではないと思っている。話し合いをしながら実施計画をつくっていくほうが早いのではないか。
- ◎ 地域が元気なまちを維持していかなければならない。
商工会の会員というのは小規模事業者が多いので力がない。何をするにも、

手に手を取って進めていかなければならない。

みんなでバックアップしなければならない。今後も小規模事業者を支える場は必要と考えている。そのためにも条例制定をお願いしたい。

平成29年度名取市議会議会懇談会実施概要（関係団体分）

関係団体の名称	特定非営利法人 名取市体育協会
テーマ	<p>共通テーマ</p> <p>1 サイクルスポーツセンターについて</p> <p>2 閑上小中学校について</p> <p>3 議会だよりのリニューアルについて</p> <p>スポーツ振興について</p> <p>1 生涯スポーツ推進の課題について</p> <p>2 市内におけるスポーツ施設や今後予定されている閑上地区のスポーツ施設について</p>

概 要

1 開 会（司会：大泉徳子議員）

班長の佐々木哲男議員及び、特定非営利法人名取市体育協会会長佐々木敏克氏がそれぞれ挨拶を行った後、市議会議員及び特定非営利法人名取市体育協会の出席者紹介を行った。

2 懇 談

共通テーマの1 サイクルスポーツセンターについて、2 閑上小中学校について、3 議会だよりのリニューアルについて、説明担当の丹野政喜議員から報告及び説明を行った。

共通テーマについて

（1）サイクルスポーツセンターについて

体育協会：温泉と宿泊もできる施設ということで、スポーツ施設なのか、観光なのか。体育協会として、どのように対応すればいいのか、ご教示願いたい。

議 会：大切ところで、建設当初（昭和50年）はスポーツ施設だったが、まだ具体的な内容は示されていないので、議会として精査していく。体育協会からも、ご指導願いたい。

体育協会：サイクルスポーツセンターだけでなく、閑上地区全体の中で、もっと人が集まるように、子供たちや学生が利用しやすい、また公民館の体育館と連携したり、使い勝手がよくなるようにご検討願いたい。

議 会：閑上地区の復興としてさまざまな施設ができてくる中で、全体としていかに連携して活用しながら進めていくのかが課題と捉えている。

(2) 閑上小中学校について

体育協会：体育協会として、ナイター施設をつけてほしい。平日に仕事が終わった後にみんなと汗を流したい。また、特色のある、みんなが入りたい学校になってほしい。

議 会：英語教育に特化した期待もあったが、説明会では教育要領に沿った授業ということだった。しかし、地域の特色を生かした取り組みが期待できるので、長い目で見てほしい。

(3) 議会だよりのリニューアルについて

特になし

スポーツ振興について

(1) 生涯スポーツ推進の課題について

体育協会より資料を基に概要説明があった。

- ・利用料改定（値上げ）に伴う利用者の減少はない。天候不順での利用者減はある。周辺施設と比較してもかなり安い利用料である。

議 会：施設面で不足していないのか。

体育協会：学校を無償で開放しており、平日についてはまだ空いているが、土日には要望が多い状況。利用者の希望により早い時間帯等にも対応している。名取市からは一般開放日をふやすよう言われているが、すでに多くの行事が入っている。また、利用者の団体に調整を行い譲り合って利用するようお願いしている。

体育協会：これまでの施設で、全体として間に合っているのか。陸上競技場もないのは事実。体育協会で管理している施設で十分なのかという問題は、これからの課題である。

議 会：地域型の総合スポーツクラブが必要で、地域の受け皿として、体育協会はどのように考えているのか。

体育協会：全くそのとおり。それには、スポーツを文化にしたい。芸術だけが文化ではない。施設も必要だが、種目をふやしていくのも必要だ。これから多くの方にスポーツを愛していただけるよう、今まで行政ができなかったことをやるのが私たちの使命なので、これから少しずつ方向性を持ちながら取り組んでいきたい。

体育協会：小中学生でもよい成績の方がいるが、市民にアピールする機会がない。活躍し結果が出たら、褒めてほしい、それにより変わってくると思うので、その辺を考えてほしい。

体育協会：今の若い方はスマートフォンである。広報は見ないようだ。体育協会も今はSNSに力を入れるようになった。年代の高い方は広報で、若い年代にはSNSというようにさまざまな手を使っている。

議 会：駅伝などは外に出して、多くの人に見られ、応援いただくと伸びるが、先生とのコミュニケーションはとれないものか。

体育協会：大会の時は連携している。

議 会：昔はトリムコースがあったが、目標になるコースがあるといい。

体育協会：ノルディックコースはつくった。パンフレットを出している。

体育協会：愛知県春日井市の「剣道のまち春日井市」のように、一つ核をつくって広げていけば、健康なまちづくりにつながると思う。

体育協会：サイクルスポーツセンターができれば、さまざまな大会を開催できる。

(2) 市内におけるスポーツ施設や今後予定されている閑上地区のスポーツ施設について

体育協会より、スポーツ審議会の資料説明があった。

- ・市民パークゴルフ場は平成37年度以降に載せただけで具体的にはまだない。スポーツ推進審議会に2名出ているので、そこでの話になると考えている。

体育協会：パークゴルフ場には日本中から集まってくるが、しっかりとした施設でなければならないと言われている。

体育協会：閑上の公園をつくる時には、議員も入り、体育協会も入り、市民の皆さんからのご意見を聞く機会をつくらないと前に進まない。そう

いう場所が設定されていないので、早めにつくっていただきご意見をお話し申し上げたい。

議 会：私たちに基本計画が提示される段階では、その後の変更が難しい現状であるが、執行部には十分にお話を申し上げておく。

体育協会：施設を使うのは市民であるので、市民の意見を聞いてくれる場所をつくってくれるとありがたい。ぜひお願いしたい。

体育協会：今後施設をつくるときには、関係する団体の話を聞いてまとめた中で、取り組むことを強くお願いしてきた。議会の立場でも執行部にしっかりと行ってほしい。

3 まとめ

初めての試みとして、当該委員会が関係する団体との意見交換ができたが、大変前向きな意見や提言が多く出され、よい懇談会となった。それぞれの専門的な立場からのお話は、今後のスポーツ行政に大変参考になり、有意義な時間だった。

共通テーマからスポーツ振興の話題と幅広い分野において、貴重なご意見をお聞きすることができたが、どちらにも一貫して提言された事項は、

- 1 全体的な計画の中で、どのように取り組んでいくのかをしっかりと示すこと
- 2 市民や関係団体の意見を取り入れる場所をつくること

であった。いずれも、各種事業や新たな政策について、市民に分かりやすく情報提供され、関係団体との連携や市民参加のもとで進めてほしいということであり、現実には、まだ取り組まれていないということである。

また、さまざまなスポーツ行政に取り組んでいくときに、スポーツを私たちの文化として捉えていくことをご教示いただいたことは大きな収穫でもあった。

今回の議会懇談会では、市民の立場で活躍する体育協会と意見交換ができ、あらためてその重要性を強く感じた。今後も、関係する多くの団体との意見交換の場を設定し、各方面のお話を聞く場をふやすことは、抱えているさまざまな課題を整理し、私たちの議会活動に十分に生かしていけるものであり、今後も続けていく必要性を確認できた。